

やぎよしお
八木義雄さん



八木さんは昭和47年に大学を卒業し、高校教師の道に進み、定年退職するまでの36年間を静岡県教育にささげました。昭和62年4月から7年間は県教育委員会高等教育課、平成14年4月から3年間は県教育委員会生涯学習課に勤めるなど、教育行政にも長く携わりました。生涯学習課では課長としてリーダーシップを発揮し、県全体の教育プランを作成しました。その間には教頭、校長を歴任しました。

学校現場はもちろんのこと、教育行政にも携わり、長く、そ

瑞宝小綬章・教育功労
(70歳 中原区)

して広く深く教育に貢献しました。一環して心掛けたことは、一人一人を大切にすることと言う八木さん。教諭時代は部活指導などで休日もほとんどありませんでしたが、熱い思いで生徒に接してきました。

八木さんは「教育者としてさまざまな活動に関わることができた。今回の受章は自分の力だけで成し得たものではない。学校関係の方々、教育行政の方々、そして仕事に専念させてくれた妻に支えられてのこと。とても感謝している」と笑顔で話しました。

Pick up

**平成30年度春の叙勲
本市で4人が受章する**

ふたまたつかさ
二俣司さん



二俣さんは昭和44年に池新田高校を卒業後、陸上自衛隊に入隊しました。平成16年11月に准陸尉として定年退職するまでの間、常にその旺盛な責任感で積極的に職務を遂行し、自衛隊の発展に尽力されました。上司の意図をよく理解し体現したその姿勢には、厚い信頼がありました。

板妻駐屯地で演習の小隊長、静岡協力本部で総務、最後の3年間は滝ヶ原駐屯地業務隊総務科で人事を勤めました。職務の重要性を強く認識し、人事のほか、広範多岐にわたる業務を円

瑞宝単光章・防衛功労
(67歳 中町)

滑にこなすとともに、的確に駐屯地の人員の状況を掌握し、円滑な隊務運営に貢献しました。その功績が大きく評価されての受章です。

二俣さんは「初めは自衛隊に長く務めるつもりはなかったが、仲間がそばにいて支え合い、声をかけ合う環境があったから『つらい』と思うことがなかった。このような叙勲を賜り自分でも驚いた。支えてくれた上司、先輩、後輩、同僚に感謝している。今後は地域のために、どんなことでも貢献していきたい」とこやかに話しました。